



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東大

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社

コード番号 3104 URL <http://www.fujibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 中野 光雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員

(氏名) 三木 康史

TEL 03-3665-7612

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	17,962	12.6	1,885	37.4	1,756	38.5	563	53.0
22年3月期第2四半期	15,947	△25.5	1,372	△25.8	1,267	△25.8	368	81.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	5.34	—
22年3月期第2四半期	3.47	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	41,547	12,510	30.0	119.27
22年3月期	42,796	12,462	29.0	116.92

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 12,459百万円 22年3月期 12,415百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,200	7.9	3,700	16.0	3,400	16.3	1,300	72.6	12.30

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	108,000,000株	22年3月期	108,000,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	3,528,839株	22年3月期	1,812,403株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	105,693,245株	22年3月期2Q	106,253,453株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策と輸出により企業収益が改善し、景気の自律的な回復の兆しが見られたものの、引き続き厳しい雇用情勢、所得環境に加え、急激な円高進行や株価低迷などにより国内景気の減速感が強まるという状況の中で推移しました。

このような経営環境の下、当フジボウグループはB. V. D. ®ブランドのインナーウェアなどの繊維製品事業と超精密加工用研磨材の研磨材事業、機能化学品および医薬中間体などの受託製造の化学工業品事業を中心に開発、拡販に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,962百万円(前年同期比2,014百万円、12.6%の増収)で、営業利益は1,885百万円(前年同期比513百万円、37.4%の増益)、経常利益は1,756百万円(前年同期比488百万円、38.5%の増益)となりました。これに特別損失として固定資産処分損など合計575百万円および法人税等として615百万円などを計上した結果、四半期純利益は、563百万円(前年同期比195百万円、53.0%の増益)となりました。

セグメントの業績は以下の通りであります。

## ①繊維事業

製品事業の主要ブランドであるB. V. D. ®では、個人消費低迷の影響が続くなど厳しい環境が続きましたが、メンズインナーのベーシックな商品の良さが再認識されたほか、機能性やデザイン性を重視した商品アイテムの拡大と積極的な広告宣伝や販促活動により、前年同期比増収・増益となりました。

紡績部門、テキスタイル部門は、減収とはなりましたが構造改革効果と開発素材の製販一体となった営業努力が実り、大幅な増益となりました。

この結果、売上高は7,378百万円となり、営業利益は266百万円となりました。

## ②研磨材事業

主力の超精密加工用研磨材は、評価設備の導入によりユーザーニーズに迅速かつ総合的に対応する体制を充実させ、液晶ガラス・ハードディスク・シリコンウエハー各用途は堅調に推移しました。これに半導体デバイス用途(CMP)の拡販も相まって、増収・増益の結果となりました。

この結果、売上高は4,760百万円となり、営業利益は1,197百万円となりました。

## ③化学工業品事業

機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、良好な需給バランスを背景とした堅調な受注に加え、自動車産業の回復基調を受けた関連製品受注の上乗せによりフル操業を続けることができました。新工場の増産効果も業績に貢献し、増収・増益となりました。

この結果、売上高は3,053百万円となり、営業利益は313百万円となりました。

## ④その他事業

自動車関連部門、精製部門、電子機器製品の産業用プリント基板および化成品などの事業は、前期の後半から受注環境が改善したことなどから収益が改善し、増収・増益となりました。

この結果、売上高は2,769百万円となり、営業利益は109百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて8.0%減少し、16,068百万円となりました。これは、現金及び預金が1,528百万円減少したことなどによります。前連結会計年度末に比べて有形固定資産は増加しましたが、投資その他の資産が減少したため、固定資産合計では若干増加の25,478百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、41,547百万円となりました。

## (負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて5.5%減少し、16,464百万円となりました。これは、設備関係支払手形が596百万円増加しましたが、短期借入金が1,385百万円、未払法人税等が488百万円減少したことなどによります。固定負債は前連結会計年度末比2.7%減少し、12,571百万円となりました。これは、資産除去債務が193百万円増加しましたが、長期借入金が421百万円、退職給付引当金が217百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて4.3%減少し、29,036百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、12,510百万円となりました。これは、四半期純利益563百万円が増加しましたが、剰余金の配当の実施212百万円、自己株式の取得208百万円、評価換算差額等の減少100百万円などがあったことによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降の見通しにつきましては、景気の減速感が強まっていることから、厳しい状況となることが予想されます。第2四半期累計期間までの当社グループの業績は、事業ごとに差異はありますが、全体としてはほぼ予想通りで推移しております。このような状況を踏まえ、通期の業績予想につきましては、売上高を35,000百万円から36,200百万円に上方修正いたします。営業利益3,700百万円、経常利益3,400百万円は平成22年5月11日公表時から修正はありませんが、当期純利益は特別損失が発生した関係で、1,600百万円から1,300百万円に下方修正しております。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

##### 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ②特有の会計処理

##### 原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰延べております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益がそれぞれ7百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が108百万円減少しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,100	4,629
受取手形及び売掛金	8,418	8,342
商品及び製品	1,904	2,022
仕掛品	1,089	1,067
原材料及び貯蔵品	896	730
その他	671	674
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	16,068	17,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,436	4,319
機械装置及び運搬具(純額)	4,202	4,315
土地	14,497	14,505
その他(純額)	516	279
有形固定資産合計	23,653	23,420
無形固定資産		
投資その他の資産	282	190
その他	1,557	1,740
貸倒引当金	△14	△12
投資その他の資産合計	1,542	1,727
固定資産合計	25,478	25,339
資産合計	41,547	42,796

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,658	4,706
短期借入金	8,027	9,412
未払法人税等	352	841
賞与引当金	536	520
設備関係支払手形	802	—
その他	2,088	1,933
流動負債合計	16,464	17,415
固定負債		
長期借入金	4,676	5,098
退職給付引当金	2,940	3,157
引当金	10	9
資産除去債務	193	—
その他	4,750	4,653
固定負債合計	12,571	12,918
負債合計	29,036	30,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,400	5,400
資本剰余金	0	0
利益剰余金	5,247	4,894
自己株式	△351	△143
株主資本合計	10,295	10,151
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△45	48
繰延ヘッジ損益	△4	1
土地再評価差額金	2,172	2,173
為替換算調整勘定	41	40
評価・換算差額等合計	2,163	2,264
少数株主持分	51	47
純資産合計	12,510	12,462
負債純資産合計	41,547	42,796



## (2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	15,947	17,962
売上原価	10,952	12,097
売上総利益	4,995	5,864
販売費及び一般管理費	3,623	3,979
営業利益	1,372	1,885
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	14	18
固定資産賃貸料	79	84
補助金収入	39	—
その他	20	19
営業外収益合計	157	124
営業外費用		
支払利息	159	124
固定資産賃貸費用	—	58
その他	102	70
営業外費用合計	261	252
経常利益	1,267	1,756
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9	—
固定資産売却益	14	3
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	24	3
特別損失		
固定資産処分損	201	354
減損損失	393	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	101
その他	—	117
特別損失合計	594	575
税金等調整前四半期純利益	697	1,184
法人税、住民税及び事業税	500	510
法人税等調整額	△178	105
法人税等合計	321	615
少数株主損益調整前四半期純利益	—	568
少数株主利益	6	4
四半期純利益	368	563

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	697	1,184
減価償却費	646	834
減損損失	393	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	101
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13	△217
受取利息及び受取配当金	△17	△20
支払利息	159	124
為替差損益(△は益)	△14	26
投資有価証券評価損益(△は益)	—	11
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	—
固定資産売却損益(△は益)	△14	△3
固定資産処分損益(△は益)	201	354
売上債権の増減額(△は増加)	△1,020	△78
たな卸資産の増減額(△は増加)	343	△73
仕入債務の増減額(△は減少)	△165	162
その他	348	△77
小計	1,560	2,332
利息及び配当金の受取額	17	20
利息の支払額	△131	△117
法人税等の支払額	△482	△982
営業活動によるキャッシュ・フロー	964	1,253
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,001	△475
有形及び無形固定資産の売却による収入	4	5
有形固定資産の除却による支出	△86	△59
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	27	—
貸付金の回収による収入	16	17
その他	—	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,044	△512
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△1,350
長期借入れによる収入	300	200
長期借入金の返済による支出	△1,070	△656
自己株式の取得による支出	△0	△208
配当金の支払額	△212	△212
リース債務の返済による支出	△14	△26
その他	△8	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,007	△2,254
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,069	△1,528
現金及び現金同等物の期首残高	5,420	4,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,350	3,100

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	繊維事業 (百万円)	研磨材 事業 (百万円)	化学 工業品 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,555	4,245	2,464	1,682	15,947	—	15,947
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	0	—	26	30	(30)	—
計	7,559	4,245	2,464	1,708	15,977	(30)	15,947
営業利益又は営業損失(△)	△115	1,180	283	△0	1,348	23	1,372

## (注) ① 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、製品等の種類に応じて繊維事業、研磨材事業、化学工業品事業、その他事業にセグメンテーションしている。

## ② 事業区分の変更

前第2四半期連結累計期間において区分掲記していた「自動車関連事業」は金額的重要性が低下したため、当第1四半期連結会計期間より「その他事業」に含めて表示している。

なお、当第2四半期連結累計期間の「その他事業」に含まれる「自動車関連事業」の売上高は807百万円、営業損失は18百万円である。

## ③ 各区分に属する主要な製品等の名称

これら事業区分に属する主要な製品等は次の通りである。

事業区分	主要製品名等
繊維	紡績糸、織物、編物、二次製品
研磨材	超精密加工用研磨材、不織布、合皮
化学工業品	化学工業製品
その他	車輛、自動車部品、電子機器製品、化成品、ボウリング場の経営

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略している。

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略している。

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものである。

当社は持株会社として製品・サービスについて国内及び国外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開している。

したがって、当社は製品・サービス別のセグメントから構成されており、「繊維事業」、「研磨材事業」、「化学工業品事業」の3つを報告セグメントとしている。

「繊維事業」は、紡績糸、織物及び編物などの素材から二次製品にいたる各種繊維工業品の製造、加工及び販売をしている。「研磨材事業」は、超精密加工用研磨材及び不織布の製造及び販売をしている。

「化学工業品事業」は、化学工業製品の製造及び販売をしている。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	繊維事業	研磨材 事業	化学 工業品 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,378	4,760	3,053	15,192	2,769	17,962	—	17,962
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	0	—	6	29	36	△36	—
計	7,384	4,760	3,053	15,198	2,799	17,998	△36	17,962
セグメント利益	266	1,197	313	1,778	109	1,887	△2	1,885

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、化成品事業、電子機器事業及び精製事業等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれている。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はない。

## (追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用している。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次の通りである。

セグメントの名称	金額(百万円)
繊維事業	3,416
研磨材事業	4,908
化学工業品事業	3,053
その他	799
合計	12,178

- (注) 1 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については消去していない。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれていない。

## (2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次の通りである。

セグメントの名称	受注高(百万円)	受注残高(百万円)
研磨材事業	4,625	697
化学工業品事業	1,972	1,333
その他	468	47

- (注) 1 セグメント間の取引については消去していない。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれていない。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次の通りである。

セグメントの名称	金額(百万円)
繊維事業	7,378
研磨材事業	4,760
化学工業品事業	3,053
その他	2,769
合計	17,962

- (注) 1 セグメント間の取引については消去している。  
2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次の通りである。

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
住友商事ケミカル㈱	1,783	11.2	1,913	10.7

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれていない。